



# 瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 7月号  
令和4年6月30日  
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校  
校長 松永 淳子  
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

## 自然が与えてくれること

校長 松永 淳子

校庭の紫陽花の花が雨に濡れ、そのしずくと花が織りなすコラボレーションの美しさが梅雨のうっとおしさを忘れさせてくれた6月でした。次第に夏の日差しがじりじりと校庭を照らし、瀬戸ヶ谷小学校のプールでは青い水面に子どもたちの笑顔が輝きを増しています。3年ぶりの水泳学習となります。感染対策を行いながら安全に指導を進めてまいりたいと考えております。

6月の朝会で4年生の児童から、昇降口に燕が来て巣作りをしているので、静かに見守ってほしいこと、この時期燕はやってきて巣作りをすることなどについて話がありました。巣の下には、その案内や気を付けてほしいことなどを書いた注意喚起のポスターを制作し置いてあります。それを見て他の学年の子どもたちもその下を通るときは、燕がいるかを確認したり元気に飛んだりしている様子を気かけながら昇降口の上方を静かに見つめています。ひなが育っていることに安堵の気持ちでいっぱいです。5年生の子どもたちは、理科の学習でメダカの卵の成長や生まれたメダカの赤ちゃんを顕微鏡で観察していました。心臓などがどくどく動いている様子を熱心に見入っていました。命の誕生や成長の様子を目の当たりにして何を感じていたのでしょうか。1、2年生の子どもたちは、花や野菜の植物を栽培しその成長の様子を観察する活動を通し、水をあげながら「大きくなあれ。早く実を付けてね。花が咲いてほしいな。」と声をかけたり、伸びた蔓を支柱にまきつけたりしています。

それぞれの活動には植物や動物の成長について学ぶ学習の目標がありますが、これらの活動を通して子どもたちが学ぶのは各教科の目標ばかりではありません。植物や動物の成長に対する思いや願いが込められていることがその言動から伝わってきます。低学年の子どもたちが、優しく声をかけている様子や中学年や高学年の子どもたちが、動物の成長を見守る姿からは、どちらも「無事に育ってね」という子どもたちの思いが込められています。どの学年の子どもたちも植物や動物の命の誕生やその成長を優しく見守っている姿に心の優しさを感じます。同時に成長を楽しみにしている子どもたちの姿には、自ずと命を育てていくことの大切さをその過程を見守る中で学び取っているようです。自然界が私たちに与えてくれることは本当に偉大です。

きれいな花が咲き、おいしい野菜が育ち、メダカが大きくなり水の中をすいすい泳ぎ、燕が巣立つ頃、一人ひとりの子どもたちの心の中はどんなことで満たされているのでしょうか。

あっという間に7月を迎え、夏休みまで登校も13日程となりました。7月21日から8月28日まで夏休みとなります。地域の中で、様々な経験や体験を通し子どもたちは成長していくことと思います。地域の皆様、保護者の皆様、子どもたちの生活を見守っていただきますようお願い申し上げます。8月29日には一回り成長した子どもたちに会えるのを楽しみにしています。